

## チェックポイントキナーゼ2、活性型ヒト、組換え

Cat. No. NATE-0122

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** CHEK2はヒト遺伝子チェックポイントキナーゼ2の公式シンボルです。CHEK2は染色体22の長い (q) 腕に位置しています。CHEK2は、タンパク質CHK2をコードする腫瘍抑制遺伝子であり、これはセリン・スレオニンキナーゼです。CHK2は、DNA損傷に $\square$ じてDNA修復、細胞周期停止、またはアポトーシスを引き起こすために、複雑なタンパク質ネットワークの中で機能します。CHEK2遺伝子の $\square$ 異は、乳がんを含む広範な癌と関連しています。

**用途** キナーゼ活性は、30°Cで50  $\mu$ M [32P] ATPの最終濃度を使用して、1分あたりおよびmgタンパク質あたりのCHKtideに取り込まれたリン酸のモル量として測定されます。

**別名** チェックポイントキナーゼ2; CHEK2; CDS1; CHK2; HuCds1; LFS2; PP1425; RAD53; hCds1; Chk2; Chk2

### 製品情報

**種** 人間

**由来** E. coli

**形態** 緩衝された水性グリセロール溶液

**分子量** protein apparent mol wt ~88 kDa

**純度** > 85% (SDS-PAGE)

**緩衝液** 50 mM Tris-HCl、pH 7.5、150 mM NaCl、0.25 mM DTT、0.1 mM EGTA、0.1 mM EDTA、0.1 mM PMSF、および25%グリセロール中で、約0.1 mg/mLの濃度で供給されます。

**代謝経路** 細胞周期、特定生物体のバイオシステム; 細胞周期チェックポイント、特定生物体のバイオシステム; 細胞周期、特定生物体のバイオシステム; 細胞周期、特定生物体のバイオシステム; 細胞周期、特定生物体のバイオシステム; 細胞周期、保存されたバイオシステム; FOXM1転写因子ネットワーク、特定生物体のバイオシステム; G1/S DNA損傷チェックポイント、特定生物体のバイオシステム

**機能** ATP結合; 金属イオン結合; ヌクレオチド結合; タンパク質結合; タンパク質ホモ二量体化活性; タンパク質キナーゼ結合; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性

### 保管・発送情報

**安定性** -70°C